

PSS REPORT 2012

第27期 中間事業報告書…平成23年7月1日 ▷平成23年12月31日

PSS Precision System Science Co., Ltd.
プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
PSSの事業進捗について報告させていただきます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
代表取締役社長

日島 秀二

●全自動遺伝子診断装置
genLEAD®



●PSSの目指すバイオ診断分野

更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

TOPページ▶早わかりPSS



事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（体外の遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、バイオ診断システムの提供を通じて、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くご支援です。そのため事業領域において、強みである「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

これまで、PSSは累計1万台以上の遺伝子自動抽出装置を、世界的な企業にOEM供給してきました。近年においては、新型インフルエンザ、警察のDNA鑑定、東日本大震災の被害者確認等の分野で採用されるようになりました。この経験を生かして、従来専門の技術者が煩雑な作業を行っていたバイオ診断の課題に対処すべく「いつでも、どこでも、誰でも」簡単に扱える全自動遺伝子診断装置の開発にこの度成功しました。

バイオ診断は、新型の感染症やがん患者の投薬判断等の新規分野に裾野が広がっていくものと思われまます。今後は市場の動向を踏まえて、試薬と一体化したバイオ診断システムの販売に取り組みます。

業績について

第27期（H24/6期）見通しについて⇒（参照）連結財務ハイライト

第27期業績は回復基調にあり前期の結果を上回る事は、確実だと考えています。但し前期OEM先の在庫調整が一部残った事と、為替（円高）の影響を受けた事による売上減少により、通期の業績予想を下方に見直さざるをえませんでした。

第3四半期以降においては、見直した業績予想を達成すべく、売上総利益の改善と、更なる販売管理費の削減に努めてまいります。

最後に

先進国は日本を先頭にして歴史上例のない少子高齢化社会の到来（中長期的には新興国も同様の見込み）により、社会コスト（医療費、年金、福祉等）が、増大し続ける見込みです。その対策として、費用対効果の高い医療診断システムが社会的ニーズとなっている事から、事業領域とするバイオ診断分野は、近い将来急拡大していくものと考えています。PSSの技術を有効に利用できる道筋を把握し、具体的かつ斬新な戦略を実行して、株主・投資家の皆様のご期待に応える成果を、お見せできるよう事業を推進してまいります。

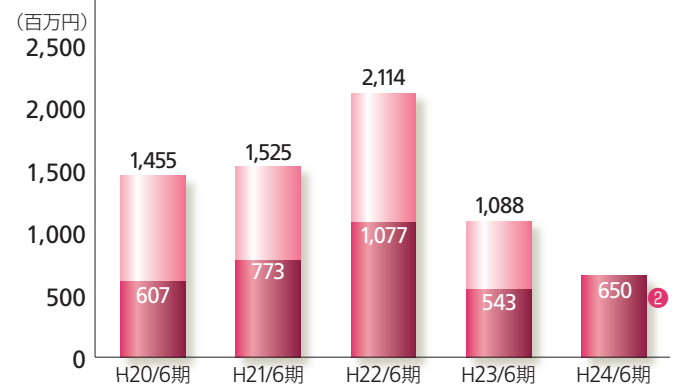
引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

H24/6期中間期(第2四半期連結累計期間)業績について

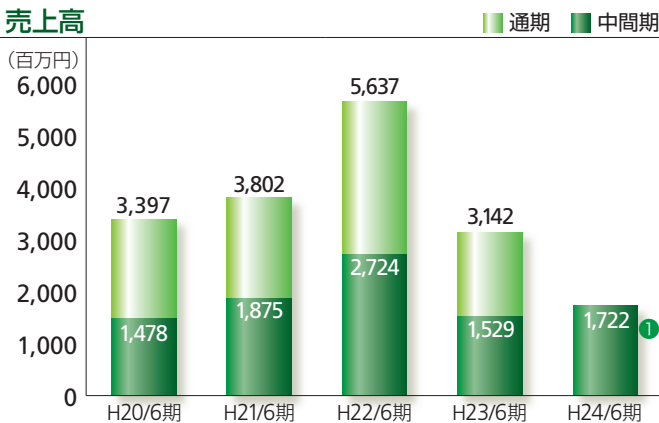
「平成24年6月期 第2四半期決算短信」(H24年2月14日プレスリリース) 対前年同期比業績は回復基調ですが、期初に定めた業績見込みは達成できませんでした。

前期OEM先の過剰在庫による売上大幅減の影響を一部残しましたが、キアゲングループ向け販売の回復や自社販売の増加等から、①売上高1,722百万円(前年同期比12.6%増)、②売上総利益650百万円(前年同期比19.7%増)でしたが、ほぼ前年同期並みの③販売管理費699百万円(前年同期比0.4%増)を賄えず営業損失49百万円を計上しました。また、為替差損24百万円の計上等により経常損失79百万円、四半期純損失95百万円となりました。

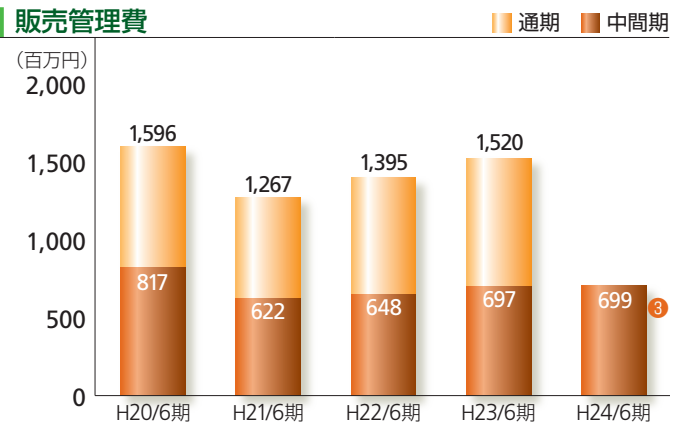
売上総利益



売上高



販売管理費



通期連結業績予想の修正について

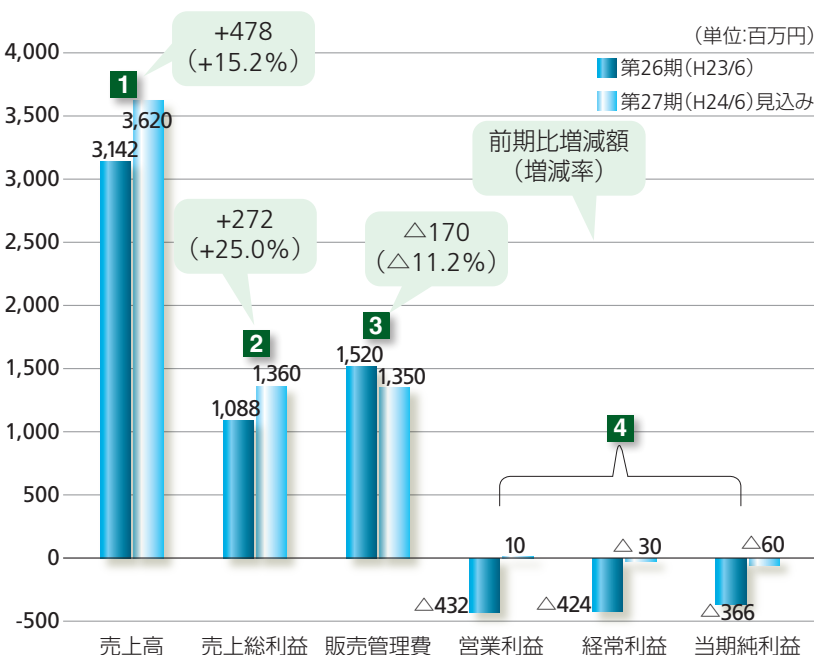
「業績予想の修正に関するお知らせ」(H24年2月7日プレスリリース) 期初の業績予想に対して下方に修正しました。

業績は回復基調にあり前期を上回る見込みですが、前期OEM先の過剰在庫による売上大幅減の影響を一部残した事と、為替(円高)の影響を受けた事により、予想通りの

事業展開にならなかった事から、この度は期初の業績予想を下方修正致しました。⇒左下グラフ●通期連結業績見込み(対前期比)参照

(なお、第3四半期以降の為替の見通しを、1ユーロ=100円、1ドル=77円に変更して算定しております。)

●通期連結業績見込み(対前期比)



◆第27期業績見込みの期初予想を下方修正しましたが、下記要因を鑑みて、第26期実績比増収増益を見込んでいます。

- 1 ▶売上拡大: ①主力OEM先との取引が回復基調②米国での新規OEM先の獲得による新製品開発の受託が期待されています。
- 2 ▶売上総利益改善: 上記1売上拡大基調と、外注先との協力による製品原価の削減努力が期待されています。
- 3 ▶販売管理費の削減: 第3四半期以降のコスト削減策により販売管理費削減を実施します。
- 4 ▶営業利益黒字化なるも最終損益は赤字見込み: 上記2 3により営業黒字の確保を目指します。その他第2四半期連結累計期間で計上した為替差損24百万円の影響等から、経常損失30百万円、当期純損失60百万円の見込みです。

更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

TOPページ>投資家の方へ



■ 新製品の開発進捗について

BIOTECHNICA 2011開催される—ドイツ・ハノーバー（H23年10月13日）

日本から参加した開発責任者が、全自動遺伝子診断装置geneLEAD®の開発コンセプト、技術的特徴について、“Fully-Automated Sample to Answer System for NAT ‘geneLEAD® and geneTYPIST™’”のタイトルで、約20分のプレゼンテーションを行い、その優位性についてアピールしました。

今回のBIOTECHNICA 2011への展示参加を通じ、PSSが提案する全自動遺伝子診断装置への期待の大きさを、あらためて強く認識しました。PSSでは、こうした市場ニーズに応えるべく、遺伝子検査の本格的実用化に向け、今後一層注力致します。



PSS USA、サンディエゴで開催されたSLAS 2012に出展(H24年2月16日)

米国子会社PSS USAが、2月6日～7日、米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された、第1回SLAS 2012に出展しました。

PSSからはgeneLEAD®（全自動遺伝子診断装置）、BA-X9（全自動遺伝子抽出装置）の2台の装置を展示してデモを行い、欧州、米国の大手企業や大学および民間の研究機関から数多くの質問を受けました。PSS製品のユニークな開発・技術思想と、限りなく小型化された省スペース性は大型システムの展示が目立つ中でとりわけ異彩を放ち、多くの専門家から称賛の声をいただきました。



関連プレスリリース①（H23年11月25日）

PSS、多項目一括測定法に関する特許が米国で成立

関連プレスリリース②（H23年12月8日）

PSSの全自動解析装置geneLEAD®で牛白血病ウイルスを測定評価

■ PSS社が受けた評価について

「デロイトトウシュートマツ 日本テクノロジー Fast50」に選出される(H23年10月18日)

有限責任監査法人トーマツが、急成長するテクノロジー企業50社を顕彰する第9回「デロイトトウシュートマツ 日本テクノロジー Fast50」の1社として選出され、受賞いたしました。

授賞理由は、直近3年間（H19/6～H22/6）の売上高成長率が65%であり、全対象企業中、36位にランクインしたことによるものです。残念ながら、PSSにとっては、前期（H23/6期）の売上が大きく減少する中での受賞となりました。PSSは、この賞を励みとし、皆様の期待に応えられるよう成長を目指します。

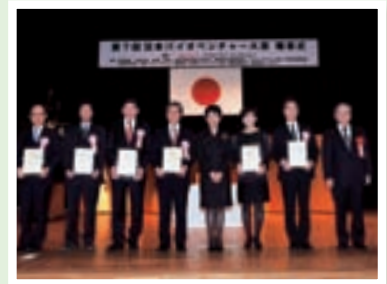


日本バイオベンチャー大賞を受賞(H24年2月29日)

フジサンケイビジネスアイ（日本工業新聞社）が主催する第7回日本バイオベンチャー大賞において、グランプリとなる「日本バイオベンチャー大賞」を受賞いたしました。

日本バイオベンチャー大賞は、バイオベンチャーの独創的な研究開発成果、将来性に富むビジネスモデル、斬新で革新的なバイオ関連機器・システム・事業の顕彰を通じて、わが国のバイオビジネス振興に寄与するために、2001年に創設されたものです。

今回の受賞は、PSSが、ものづくりの精神をバイオテクノロジー領域で活かすべく、遺伝子検査やタンパク質検査工程の自動化に長年取り組んできたことが評価されたものと誇りに思っております。



■ 個人投資家説明会のご案内

東京開催	
開催日時	H24年4月21日（土） 14:25～15:05（予定）*1
会場	KDDIホール 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル2F 03-3243-9301
主催者	株式会社インベストメントブリッジ http://www.bridge-salon.jp (ブリッジサロン*2: 2社合同説明会)
内容	代表取締役社長田島秀二より、直近の業績概況及び事業進捗について説明申し上げます。
ご参加申込方法	主催者の株式会社インベストメントブリッジへ直接お問い合わせ下さい。 お問い合わせの方法として、①電話②FAX
お問い合わせ先	株式会社インベストメントブリッジ ブリッジサロン参加希望 ①電話:03-5842-5765②FAX:03-5842-5767

*1記載しております開催時間につきましては、予定であるため変更される可能性があります。なお、PSSのHPからも、ご案内させていただきます。

*2ブリッジサロンは、(株)インベストメントブリッジが主催するIR会社説明会です。

説明会会場に行けない方は？

PSSのHPからも説明会動画を、閲覧できるようにする予定です。



会社概要 (H23/12末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二
 常務取締役 秋本 淳
 取締役 小幡 公道
 取締役 長岡 信夫
 取締役 西村 滯司
 取締役 平原 善直
 取締役 池田 秀雄
 監査役 高橋 達雄
 監査役 荻原 大輔
 監査役 平山 伸之

(注) 荻原大輔氏及び平山伸之氏は、会社法第2条第16号で定める社外監査役です。

資本金：2,217百万円

従業員数：98名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc.(米国)

Precision System Science Europe GmbH(ドイツ)

ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株)(千葉県松戸市)

PSSキャピタル(株)(千葉県松戸市)

バイオコンテンツ投資事業有限責任組合(千葉県松戸市)

ジェネティン(株)(東京都千代田区)

PaGE Science(株)(東京都小金井市)

事業内容：バイオ診断システムインテグレーター

体外の遺伝子・タンパク質解析関連業界における研究開発やその研究成果の実用化に用いられる自動化装置、その他理化学機器、ソフトウェア等開発及び製造販売、並びに自動化装置に使用される試薬及びプラスチック消耗品製造販売等

株式の状況

STOCK INFORMATION

会社が発行する株式の総数 342,400株

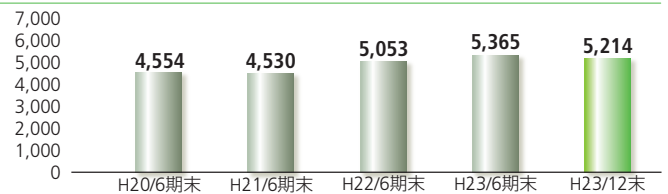
発行済株式の総数 91,260株

株主数 5,214名

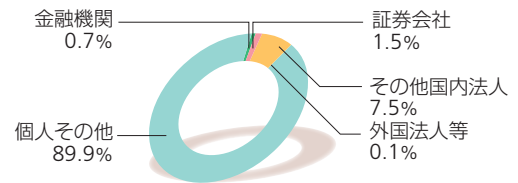
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	22,746	24.9
有限会社ユニテック	6,000	6.5
高山 茂	1,348	1.4
高橋 計行	1,074	1.1
井上 功	1,053	1.1
中武 敏子	982	1.0
小幡 公道	872	0.9
亀山 稔	821	0.8
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	698	0.7
大阪証券金融(株)	645	0.7

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の 期末配当金 毎年6月30日

配当基準日 中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 1株

株主名簿管理人 事務取扱場所
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合*
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ・みずほインベスターズ 証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払・支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 *株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった場合

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSHPTOP>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録下さい。

(将来の見通しに関する注意事項)

本中間事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おき下さい。

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 業務本部 IR・社長室

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp